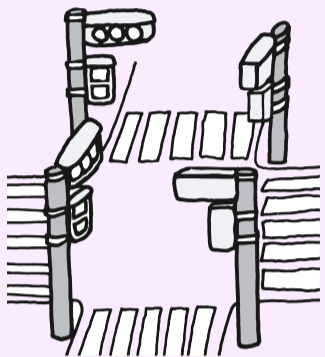


安全対策について

Q 緑町一丁目交差点の歩行者用信号機の設置についてお伺いします。

戸川 須美子

A 緑町一丁目交差点につきましては、歩行者用信号機の必要性を認識しております。市では、この交差点への歩行者用信号機の設置につきまして、毎年、草加警察署を通して埼玉県公安委員会に対して要望をしています。今後につきましては、松之木小学校の通学路になっていくことから強く要望してまいります。



介護保険事業について

Q 介護保険制度は、今年4月で、10年目を迎えます。

郡司 伶子

また、4月からは、要介護認定、介護報酬、介護保険事業計画とそれに伴い65歳以上の高齢者の保険料などが見直されました。市の3年間の事業計画では、多機能型小規模施設のみを設置となっております。特養でもグループホームでも利用料が高くて利用できない状況です。低所得者の入所希望者の対応について伺います。



への配慮として一定金額を払うのみで、超えた部分については特定入所者介護サービス費として市から施設に払う事になっていきます。受益と負担の観点から、介護保険制度の枠内で運営していきたい。

歳入・人口増を目指す 企業誘致について

Q 財源確保の特効薬と言われる企業誘致について、用地や様々な環境問題が課題となる大規模事業所以外で、5000万事業者、オフィス維持経費等で20兆円規模といわれるSOHO事業者や、店舗を持たずに既存の倉庫で営業できるIT関連事業者を、既存のマンションや既存の倉庫を活用して誘致する事についての見解は。

森 伸一

A 近年税収の増加や雇用の拡大等を期待し、企業誘致に積極的に取り組む自治体が増加しており、本市では、新たな取引先の拡大や市民の雇用機会の拡大など、市内の活性化にも

繋がるものと考えております。既存のマンションを活用したSOHO企業の誘致は、新たな用地の確保を伴わない事や、本市の駅周辺等のマンション建設状況から、また、既存の倉庫を活用したIT企業の誘致も、本市の地域特性から、共に実施に向けた可能性が高く、効果も期待できると考えます。今後は、倉庫利用における建物の用途変更の諸課題を踏まえ、先進自治体を参考にし、関係団体等の意見を伺いながら調査研究を行って参りたいと考えております。

クールアーステ어의取り組みについて

Q 昨年に続き今年も6月20日から7月7日まで、「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」が行われます。八潮市の取り組みについて。

森下 純三

A 埼玉県では昨年と同様に「照明の一斉消灯」の実施を予定しており、本市におきましても、公共施設における「一斉消灯」の実施を予定しています。また市民及び事業者への呼びかけも考えております。



八潮市行政改革集中改革プランについて

Q 八潮市行政改革集中改革プランの取り組みについて。

吉田 準一

A 事務事業の再編・整理、廃止・統合についてですが、平成21年度の組織改正において、市長部局と教育委員会にありました青少年育成について、教育委員会に事務を統合し、総合的に施策を推進することとしました。次に、民間委託等の推進では、公共施設の警備業務委託を一元化し、経費の削減を図ったところです。次に、定員管理の適正化についてですが、平成17年度に八潮市定員適正化計画を策定し職員数の適正

化を図ることとしております。次に、手当ての総点検をはじめとする給与の適正化では、平成21年度には、地域手当の支給率を3%としたところです。次に、第3セクターの見直しについてですが、やしお生涯学習まちづくり財団においては、市民ニーズにあった事業の企画・展開に取り組んだところです。次に、経費削減の財政効果については、経費削減の整理合理化ですが、事務事業の整理合理化で、職員定数の適正化による人件費抑制などで、財政効果を図ったところです。

防犯対策について

Q 八潮駅から市役所までの市役所通りのうち、八潮四丁目周辺が暗く、危険であり、物騒との声が上がっています。この間の街灯を増やす必要があるのではないか。

池谷 和代

など進めてまいります。

A 市役所通りの状況を点検したところ、道路照明灯を通常必要とする道路の交差点部などについての整備は、ほぼ完了しています。指摘された場所の周辺については八潮駅周辺と比べますと高速道路の横断を境に住宅地となるため、照度不足の感があります。今後詳細に調査し、違和感のない照度の確保

